（別添資料１）

事業所名　alikids

支援プログラム（参考様式）

作成日　R8 年 4 月 1 日

法人（事業所）理念	企業理念：あたりまえはない　すべてがありがたい　いまある全てに感謝する ビジョン：ひとりひとりが「自分」のままで存在することができる社会をつくる								
支援方針	「楽しい！うれしい！」笑顔のために。私たちが提供するすべてのものが「楽しい！」「うれしい！」「やってみたい！」につながるように、計画・実行・振返り・改善してまいります。また「今」を大切にしつつ継続した支援を心がけてまいります。「今」目の前に起こっていることに全集中し、できることを行い、未来への想いは「ワクワク」するイメージを大切にした支援を行います。								
営業時間	平日	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	なし		
	土曜日	9 時	0 分から	18 時	0 分まで				
	支　援　内　容								
本人支援	健康・生活	支援の一環として、利用児が主体的に活動を選択できる機会を設けることで、セルフマネジメントスキルの向上を図る。また、スケジュール表などを活用し、時間や活動内容の見通しを持てるよう支援する。環境面では、自己理解を促すための支援物の配置や視覚的な手がかりを活用し、空間の構造化を行う。さらに、来所時および活動中の利用児の心身の状態を丁寧に観察し、それぞれの発達段階や課題に応じた適切な支援を提供する。								
	運動・感覚	各利用児の感覚特性に応じた環境調整を行い、適切な対処法を学ぶことで自己理解を深められるよう支援する。また、感覚統合の視点を取り入れながら、基本的な運動・動作スキルの習得を目的としたプログラムを実施し、サーキットやゲームなどの楽しい活動を通じて、自然に身体を動かす経験を積めるよう工夫する。								
	認知・行動	利用児が適応しやすい環境を整え、不適応行動を予防するとともに、適切な代替手段を身につけられるよう支援する。また、認知処理の特性を考慮し、それぞれに合った活動や学習環境の調整を行うことで、効果的な学習方略や対処法を習得し、自己理解を深められるよう促す。さらに、概念の獲得を目的とした多様な遊びや認知課題を取り入れ、楽しみながら学べる機会を提供する。								
	言語 コミュニケーション	利用児の発達段階や特性に応じた基礎的な読み書きの支援を行い、文字の認識や書字の基礎を築くとともに、言語理解や表現力の向上を目指す。そのために、話し言葉だけでなく、文字・記号・ジェスチャーや表情などの非言語サインも活用し、コミュニケーションの幅を広げる。また、手先を使う製作活動やルールを理解するゲーム、自由な発想を育む遊び、実際の場面を想定したロールプレイなど、多様な体験を通じて、相手の意図を理解し適切に伝える力を育む支援を行う。								
	人間関係 社会性	利用児が安心して過ごせる居場所となるよう、事業所内の環境を整え、信頼関係を築ける関わりを大切にする。また、利用児一人ひとりの発達段階や興味・関心、遊びの発達過程に応じた活動を取り入れ、楽しく取り組めるよう工夫することで、他者との関わりを自然に学び、社会性の向上や仲間づくりを支援する。さらに、発達の特性や課題に応じた自己理解の促進を目的とし、自分の気持ちや行動を振り返る機会を提供しながら、適切な対処法を学べるようサポートする。								
家族支援	保護者がお子さまとの関わり方を学び、家庭での支援につなげられるよう、ペアレントトレーニングや親子一緒に参加できる支援プログラムなどの機会を提供する。また、保護者同士が気軽に交流し、情報交換や悩みを共有できる場として、座談会などの機会を設ける。さらに、個別の相談支援を通じて、それぞれの家庭の状況に合わせた具体的な助言やサポートを行い、お子さまと保護者が安心して成長できる環境を整える。					移行支援	学校や関係機関に対し、お子さまの発達や特性について適切な情報を提供し、より良い支援につなげる。また、サポートブックや関係機関連絡票を作成し、支援の一貫性を確保する。さらに、進級・進学に向けて、受け入れ先の学校や関係者と連携し、情報共有や相談支援を行うことで、お子さまが安心して新しい環境へ移行できるようサポートする。		

地域支援・地域連携	学校や関係機関との情報交換を積極的に行い、お子さまの発達や特性に応じた支援が継続的に提供されるよう調整する。また、必要に応じて相談援助を行い、学校生活での困りごとや支援の方向性について保護者や関係者と共有する。さらに、地域の福祉施設や医療機関とも連携を図り、多方面からの支援を受けられる体制を整えることで、お子さまが安心して成長できる環境を支える。	職員の質の向上	事業所ごとの年間研修計画に基づき、スタッフの専門性向上を目的とした研修を実施する。新たに配属された職員には、基礎的な知識や実践力を身につけるための初任者研修を行い、その後、職種や経験に応じたスキルアップ研修を提供する。また、支援に関わる知識や技能の向上を図るため、現場の先輩職員からの助言や実践的な指導を取り入れた研修を行い、継続的な学びの機会を確保する。
主な行事等	四季折々のイベントや行事を取り入れたプログラム活動を実施し、お子さまが季節の変化を感じながら楽しく参加できる機会を提供する。例えば、夏には夏祭り、冬にはクリスマスの工作、年度末には卒業を祝う催し、また、さまざまな食材に触れるクッキング活動などを通じて、季節ごとの特別な体験を楽しめるよう工夫する。		